



心の鬼を追い払おう！

もうすぐ2月。昨日のリモート全校朝会では、節分の話をしました。

節分とは季節の分かれ目のこと。昔は、立夏、立秋、立冬を含め、それぞれの前日のことを言っていました。今は、立春の前日だけと言うようになったのだそうです。そして節分と言えば豆まき。悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために行うとされています。

この鬼は、私達の心の中にいる鬼のこと。自分の中から追い払いたい鬼がないか、子ども達に考えてもらいました。「忘れ物おに」「寝坊おに」「後回しおに」…。鬼は人それぞれ違うでしょう。しっかりと向き合い、追い払ってもらいたいと思います。

世界中のみんなで追い払いたい共通の鬼もいます。気を抜いたり、サボったりする「油断おに」です。昨日から、佐賀県でも「まん延防止等重点措置」が適用されました。子ども達には、マスクのつけ方、検温、手洗い、消毒など、みんなの安全・安心のためにしっかりと続けてほしいと、あらためてお願いしました。保護者・地域の皆様にも、子ども達へ「おに退治」のお声掛けをお願いします。



ありがとうをかたちに ～一人一鉢運動～

本校では、ボランティア活動の一環として、一人一鉢運動を行っています。

民生委員さんや校医さんといった日頃お世話になっている方々や、地域でご縁のある施設など、全部で70以上の個人・施設に、鉢植えのお花をプレゼントする取組です。

まずは、子ども達一人一人が、お礼の言葉など思い思いのメッセージを添えて、白い鉢いっぱい絵を描きます。そして、パンジーとビオラの苗をていねいに植えました。5年生と2年生など、仲良く協力しながらの異学年交流になった学年もあったようです。お花は、今年度は、コロナ禍の状況を考慮して、職員が配布して回りました。

嬉しいことに、交通安全指導員の鎮西支部長をしてられる坂本剛様から、お礼のお手紙をいただきました。“…鉢にもきれいな絵が描かれていて、きれいな字で*いつもありがとうございます*と書いてありました。私たちの事を忘れずにいてくれたんだと、とっても嬉しかったです。大事に育てています。…”とありました。校内に掲示させていただいています。



5年生と2年生で 心をこめて

ICT活用教育を進めています



リモート児童集会(1/20)

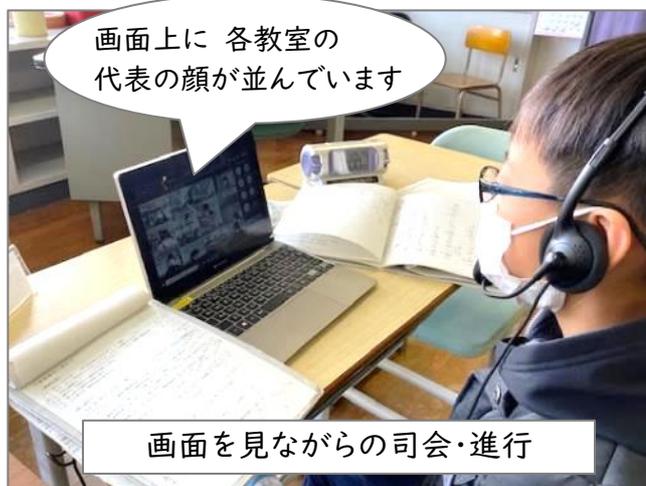
少し慣れてきた感のあるリモート。今回は、校長室から各教室に向けて、委員会発表を行いました。給食委員会の紹介、活動報告です。

発表者の顔は、電子黒板に大写しされるので、体育館よりもよく見えます。この方法は、中学校で、生徒会役員立候補者の演説などにも使われることがあるそうです。工夫次第で新しいことができそうですね。

リモート代表委員会(1/26)

打上小初の試み。これまでのリモート集会とは違って、双方向性が必要となります。つまり、くすのきルームの司会団(計画委員)と、各教室の代表が、それぞれ別の場所から「意見交換」を行うのです。ぐっとレベルが上がります。

結果、司会団の周到な準備と、子ども達の集中力、先生方のサポートで、無事やりとげることができました。大きな「はじめの一步」です!



プログラミング学習(1/20)

昨年もお世話になった九州コーユーさんにお越しいただき、一部の学年で実施しました。

子ども達は、アプリを使い「横断歩道の渡り方」や「トラックの配送経路」について考える過程を通して、「繰り返し」や「条件分岐」といったプログラム処理の基本を学びます。

1人1台のよさは、思う存分トライ&エラーでできること。2月に残りの学年も予定しています。

「タブレット端末家庭持ち帰りについての同意書」のご提出ありがとうございます。今後、臨時休校等における端末持ち帰りを想定し、学校で、使い方の指導や持ち帰り方法(保護バッグ等)の検討を行っています。新しい学びに向かう取組です。どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。